

平成22年度

# 学校自己評価総括表

平成22年度最終評価 まとめ

努力目標・評価項目・具体的方策・評価基準・総括評価

平成23年2月24日（木）

長崎県立北松西高等学校

# 平成22年度努力目標

- ◆ 生徒が学習を生活の中心に据える環境を整え、考える力・創造する力を育成する。
- ◆ 他人を思いやる心豊かな「西高生」を育て、規律ある行動ができる人間の育成を目指す。
- ◆ 一人ひとりの進路実現のため、キャリア教育を充実し、実践的な指導に努める。

## (1) 学力の充実と向上を図る。

- ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。
- ② 毎日の家庭学習2時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。
- ③ ことばに対する意識を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。
- ④ 学習のつまずきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。
- ⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。
- ⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。

## (2) 基本的生活習慣の確立を図り、規範意識の高揚に努める。

- ① あいさつ、服装、掃除などの指導において、全職員の共通理解を図る。
- ② 学校生活でのルールや時間を守る指導を徹底する。
- ③ 自転車通学など安全教育の徹底を図る。
- ④ 生徒一人ひとりを正しく理解し、心と心が通じ合った、いじめのない学校づくりに努める。

## (3) 進路指導の充実を図る。

- ① 1年次より生徒一人ひとりの進路意識の高揚を図る。
- ② キャリア教育の充実に努め、きめ細かな進路指導を実践する。
- ③ 進路に関する有効な情報を収集し、企業開拓に努めるなど個々の生徒のニーズに対応できる体制を整える。

## (4) 小中高一貫教育の内容の充実を図る。

- ① 小中高12年間を見通した系統的・継続的な教育を進める。
- ② 小中高一貫教育の内容の工夫を図り、その成果を検証し、改善に努める。
- ③ 郷土学習を進め、郷土に感謝し、郷土を愛し、郷土に貢献する心を育てる。
- ④ 小学生・中学生を思いやる心を育て、地域社会に貢献するボランティア精神の高揚に努める。

### ※ 評価について（4段階評価で実施）

- 4：十分達成している
- 3：おおむね達成している
- 2：どちらかという達成されていない
- 1：ほとんど達成されていない

平成22年度 長崎県立北松西高等学校 学校自己評価【総括評価表】 <最終評価>

|      |   |
|------|---|
| 教育方針 | ◎ 明るく生き生きとした学校を創り、国際社会で活躍できる心身共に健全で調和のとれた豊かな人間の育成に努める。  |
| 努力目標 | ◆ 生徒が学習を生活の中心に据える環境を整え、考える力・創造する力を育成する。<br>◆ 他人を思いやる心豊かな「西高生」を育て、規律ある行動ができる人間の育成を目指す。<br>◆ 一人ひとりの進路実現のため、キャリア教育を充実し、実践的な指導に努める。 |

本年度の努力目標

(1) 学力の充実と向上を図る。 (2) 基本的生活習慣の確立を図り、規範意識の高揚に努める。 (3) 進路指導の充実を図る。 (4) 小中高一貫教育の内容の充実を図る。

| 評価項目            | 具体項目     | 目標  | 具体的方策   | 評価 |     |    | 成果と課題  |
|-----------------|----------|---|---|----|-----|----|--|
|                 |          |   |   | 中間 | 年度末 | 総合 |  |
| 学校の組織的経営力の充実と向上 | 学校運営の円滑化 | <b>教務部</b><br>各分掌・学年・学科・教科間の意思疎通を図り、職員協力体制の強化に努める<br><br>教務に関する情報を整理し、効率的かつ継続的に活用できるシステムを構築する | ① 教職員が安心してできるように、計画にミスなくす。<br>教務の計画を事前に示し、ミスがなければ 3                       | 3  | 3   | B  | 今年度から校務事務支援システムを導入したが、年間を通して混乱もなく運用できた。次年度は今年度以上に活用していきたい。また行事等においても、他の教職員の協力のおかげもあり滞りなく実施できた。各分掌および教員と連携をとりながら学校運営に努めたい。                          |
|                 |          |   | ② 教職員の役割が明確に伝わるようにわかりやすい実施要項を作成する。<br>教務提出の実施要項にミスがなく、役割が明確に伝われば 3        | 3  | 3   |    |  |
|                 |          |   | ③ 教職員が快適に仕事できるように備品・消耗品・周辺機器の整備をする。<br>必要なもの・システムが整備され、日々の仕事に支障をきたさなければ 3 | 3  | 3   |    |  |
|                 | 広報活動の充実  | <b>教務部</b><br>広報活動を充実させることで、地域、保護者、同窓会、小・中学校との協力を得る   | ① 「北松西高」だよりの発行<br>年5回発行すれば 3 (それ以上発行すれば4)                                 |    | 4   | B  | 11月に「研究授業ウィークス」を実施し、10名以上の参観があり、小中高一貫教育事業の一環としても非常に有意義であったと感じた。北松西高だよりのWebページについても定期更新や行事ごとの更新など学校の情報を積極的に外部へ発信できた。今後はシステム変更等もあるのですぐに対応できる体制を作りたい。 |
|                 |          |   | ② 授業参観の実施<br>毎学期実施し、各学期10名以上の参観者があれば 3 (各学期15名以上の参加で4)                    | 3  | 3   |    |  |
|                 |          |   | ③ Webページの定期的な更新<br>年2回更新すれば 3 (それ以上更新すれば4)                                | 4  | 4   |    |  |
| 生徒及び教職員の健康の保持増進 |          | <b>保健部</b><br>生徒及び教職員の健康と保持増進を図り、自分の健康に関心を持たせる  | ① 定期健康診断を実施し、治療及び予防に努める。<br>受診勧告書を発行し、受診後は報告書を提出させる。<br>(全員の提出があれば4)      | 3  | 3   | B  | 歯科の受診者が少なかった。来年度は指導の機会を増やして、受診率を上げるよう努めたい。<br>インフルエンザ等の流行時に生徒－担任－保護者の連絡が充分にできるようにしたい。  |
|                 |          |   | ② 健康診断・保健指導を実施し、適切な指導・援助を行なう。<br>計画どおり実施した。(問題解決につながるような援助ができれば4)         | 4  | 3   |    |  |
|                 |          |   | ③ 健康の保持増進を図るため、出来るだけ多くの情報提供を行なう。<br>毎月、臨時の情報提供を行なった。(計画どおり発行出来れば4)        | 4  | 4   |    |  |

| 評価項目                | 具体項目  | 目標  | 具体的方策   | 評価 |     |  | 成果と課題  |
|---------------------|---|---|---|----|-----|--|--|
|                     |   |   |   | 中間 | 年度末 | 総合   |  |
| 学校の組織的経営力の充実と向上     | 施設・設備の健康・安全対策   | 保健部<br>生活・学習環境の安全・衛生・美化活動に努める                 | ① 保健部・学校薬剤師による環境安全点検（校舎内外）を実施し、問題点があれば、速やかな対策を講じる。<br>点検を計画どおり実施した。<br>(問題点に対して速やかな対応策を講じた場合 4) | 3  | 4   | B  | 安全点検の2回目は、生徒の学校生活における安全面に着目して実施したい。<br>掃除用具点検や、清掃活動調査が徹底できなかったため、次年度は実施したい。<br>トイレの掃除方法について、備品の補充などで徹底できていない点があった。 |
|                     |   |   | ② 学習環境の安全衛生点検を実施する。<br>点検を計画どおり実施した。<br>(問題点に対して速やかな対応策を講じた場合 4)                                | 3  | 3   |  |  |
|                     |   |   | ③ 掃除の徹底<br>清掃活動を計画どおり実施した。<br>(問題点に対して速やかな対応策を講じた場合 4)  | 4  | 3   |  |  |
| 多様な教育活動に対応した学校事務の推進 | 施設・設備の安全管理及び 整備・充実  | 事務部<br>学校の窓口としての適切な対応                         | ① 適切な来客対応<br>挨拶、用件を聞く、担当者への引き継ぎや案内を行うなど標準的な対応がスムーズにできれば 3                                       | 4  | 4   | A  | 窓口としての各種対応は概ね適切に行えた。課題であった玄関の美化や配送物品の片付けなども概ね改善された。  |
|                     |   |   | ② 適切な電話対応<br>丁寧なことば使い、適切な受け答えと担当者への引き継ぎができれば 3（特に困難な内容の場合は除く）                                   | 4  | 4   |  |  |
|                     |   |   | ③ 適切な文書処理<br>文書の受付、配布、発送が滞らず適切にできれば 3   | 4  | 4   |  |  |
| 適正で迅速な会計処理と予算の効果的執行 | 事務部<br>法令等を遵守し、適正で迅速な会計処理に努めるとともに、教育活動の理解に基づいた予算の効果的執行に努める。 | ① 適正な会計処理<br>法令遵守を意識した適正な処理を行ってれば 3           | 4   | 4  | A   | 適正で迅速な会計処理は概ね実行できた。教育活動の理解に基づく効果的執行にも意識的に取り組めた。今後は、予算の計画的かつ早期の執行を図る必要があるため、受け身ではなく提案型の執行を目指す必要がある。 |  |
|                     |   | ② 迅速な会計処理<br>支払期限を意識した迅速な処理を行ってれば 3           | 4   | 4  |     |  |  |
|                     |   | ③ 予算の効果的執行<br>教育活動の理解に基づく効果的執行を意識した処理を行ってれば 3 | 3   | 4  |     |  |  |

| 評価項目                | 具体項目              | 目標   | 具体的方策  | 評価 |     |    | 成果と課題  |
|---------------------|-------------------|--|--|----|-----|----|--|
|                     |                   |  |  | 中間 | 年度末 | 総合 |  |
| 多様な教育活動に対応した学校事務の推進 | 施設・設備の安全管理及び整備・充実 | <b>事務部</b><br>学校生活における生徒の活動・行動についての状況把握と理解に基づき、実態に即した、より効果的な施設・設備の安全管理に努める。<br>教育活動の実態に基づき、より適正な施設・設備の整備に努めるとともに、将来を展望した長期計画の策定により、よりよい教育環境の整備・充実を目指す。 | ① 定期点検の実施<br>毎月の詳細な定期点検を実施していれば「3」                                       | 2  | 3   | B  | 毎月の詳細な定期点検は不完全であったが、随時の点検により修繕等の改善を行った。結果的には目的とする施設・設備の安全管理は確保できたが、次年度は点検法を実行可能で有効なものに改める必要がある。        |
|                     |                   |  | ② 突発的な破損・故障への迅速な対応<br>直ちに現場を確認し、対応策を検討していれば「3」                           | 4  | 4   |    |  |
|                     |                   |  | ③ 整備計画の策定<br>長・短期的視点からの整備計画策定の何らかの準備をしていれば「3」                            | 3  | 4   |    |  |
| 学力の充実と向上を図る         | 教育課程の充実           | <b>教務部</b><br>創意工夫を凝らした適切な教育課程の実践に務める  | ① 目標にあった特色ある教育課程を編成する<br>年間計画通り教育課程委員会が開催できれば「3」                         | 3  |     | B  | 学習指導要領改訂が平成24年度から数学・理科で先行実施となるため、新教育課程の作成に取り組んだ。各教科および分掌と話し合いを十分に行い、意見を集約しながら次年度の準備に早速取り掛かっていきたい。      |
|                     |                   |  | ② 生徒の志望進路達成に資する選択可能な講座を編成する<br>年間計画通り、選択希望調査をおこなえば「3」                    | 3  | 3   |    |  |
|                     |                   |  | ③ 教育課程の編成にあたっては、定期的に点検する<br>7月と3月に点検し、計画通り実施していれば「3」                     | 3  | 3   |    |  |
| 総合的な学習の時間の充実        | 総合的な学習の時間の充実      | <b>教務部</b><br>総合的な学習の時間を計画的に運営し、内容の充実を図る   | ① 総合的な学習の時間の年間計画を立てる<br>学習内容のバランス・担当人数のバランス・担当時間などに配慮して年間計画が立てられれば 3     | 3  |     | B  | 各学年の協力により、問題なく計画通りに実施することができた。やむを得ない変更等にも迅速に対応して、それぞれの学年に合わせた活動ができた。今後も、学年間の連携も踏まえていきたい。               |
|                     |                   |  | ② 総合的な学習の時間を運営する<br>円滑に実施できるように、実施計画を調整したり、主担当者へ連絡ができたりすれば 3             | 3  | 3   |    |  |
|                     |                   |  | ③ 今年度の反省をし、次年度の計画を立てる<br>担当者に今年度の反省をしてもらい、それを元に次年度の計画を年度末の職員会議に提案できれば 3) |    | 3   |    |  |
| 学力の充実と進路指導の徹底       | 1学年               | <b>1学年</b><br>総合的な学習の時間や個別指導を通じて、各人の進路設計を確立させる   | ① 家庭学習の充実<br>毎日1時間30分以上の家庭学習時間を確保する。<br>(学習と生活の記録調査で50%いれば 3)            | 2  | 3   | B  | 日々の学習に関する意識は少しずつ改善しており、日々の課題や個別指導を通して学習の習慣が身についてきている。来年度は教科に偏りが出ないように、教科間で連携を密にとり、バランス良く学習できるよう指導していく。 |
|                     |                   |  | ② 学力に応じた個人指導<br>進路や学力に応じて、添削などの個別指導を受けるよう指導する。<br>(生徒が積極的に受講すれば 3)       | 2  | 3   |    |  |
|                     |                   |  | ③ 個人面談の充実<br>個人面談、家庭訪問を実施する。(予定通り実施すれば 3)                                | 3  | 3   |    |  |

| 評価項目   | 具体項目                            | 目標   | 具体的方策  | 評価 |     |    | 成果と課題   |
|--|---------------------------------|--|--|----|-----|----|---|
|  |                                 |  |  | 中間 | 年度末 | 総合 |   |
| 学力の充実と向上を図る  | 生徒の能力・適正・進路に応じたきめ細かい個別指導の徹底を図る。 | 2 学年<br>学力の充実と進路指導の徹底を通して、自己認識を深めさせ、各生徒の適性に応じた進路設計を確立する。 | ① それぞれの生徒が置かれている状況とその特性や能力を把握する。<br>個人面談、家庭訪問をとおして各生徒を理解することができたか。                       | 3  | 3   | C  | 授業態度はまじめであるが、復習に対する意識が低く、学力の定着が不十分であった。補習や学習会などで学習方法の確立を図り、生徒自身の学習スタイルが徐々に確立していった。進路実現まで学習計画を明確にさせ、各生徒の目標を達成させていく。        |
|  |                                 |  | ② 各生徒の学力や進路に応じた個人指導を実施する。<br>学力充実や進路実現のために添削指導や学習会などの具体的な指導を実施することができたか。                 | 3  | 3   |    |   |
| ③ 家庭学習の充実を図る。<br>毎日1時間30分以上の家庭学習時間を確保させることができたか。   |                                 |  | 2  | 2  |     |    |   |
| 学習習慣の定着  | 学習習慣の定着                         | 3 学年<br>学力の充実を図るため、学習習慣の定着をめざす                           | ① 添削指導や補充指導の機会を増やし、個々の能力に応じた指導を行う<br>個々の能力に応じた添削指導や補充指導を実施できたと、教員の70%が判断した(70%以上が判断すれば3) | 3  | 4   | B  | 就職・進学決定者も以前と比べて学習習慣が定着したものの、日によって学習時間の増減が大きい生徒が目立つようになった。また、添削等の個人指導については、休日や放課後遅くまで十分な指導を実施することができた。                     |
|  |                                 |  | ② 家庭学習の習慣化を図る<br>80%以上の生徒が、毎日一定時間の家庭学習の習慣がついている(80%以上なら4)                                | 3  | 3   |    |   |
| ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。<br>② 毎日の家庭学習2時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。<br>③ ことばに対する意識を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。<br>④ 学習のつまづきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。<br>⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。<br>⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。 | 国語                              | 授業研究<br>段階的・系統的で分かりやすい授業を研究、実践する                         | ① 授業計画について検討し、情報交換をする<br>学期に1回できれば 3   | 4  | 4   | B  | 授業計画については適宜情報交換を行い、学力の伸長状況に応じて弾力的に運用することができた。来年度に向けては特に現2年生の対策を重点的にを行い、基礎力の向上と応用力の育成を目指して指導していきたい。                        |
|  |                                 |  | ② 学年・学級内の学力差対策について検討し、情報を交換する<br>学期に3回できれば 3   | 4  | 4   |    |   |
|  |                                 |  | ③ 互いに授業を参観し合い、意見交換を行うことで指導力を向上させる<br>学期に1回できれば 3   | 3  | 3   |    |   |
|  |                                 | 小論文指導<br>生徒の書く力を育成する                                     | ① 記述力養成のための指導を授業の中に取り入れる<br>各クラスとも3回実施できれば 3   | 4  | 4   | B  | 1年生では意見文の作成やスピーチ活動を行うなど、表現活動を積極的に取り入れた。授業においては適切な言葉遣いを身につけるための学習や、評論文の要約などを行った。「少年の主張」については代表者3名が町の大会で発表し、高い評価を受けた。       |
|  |                                 |  | ② 「少年の主張」を書かせる<br>推敲によって内容が深まった者が7割いれば 3   |    | 3   |    |   |
|  |                                 |  | ③ 書くための情報収集の方法を学ばせる<br>年に1回実施できれば 3  |    | 3   |    |   |
|  |                                 | 小中高一貫教育<br>小中高職員で協力し、継続的な指導の研究を行う                        | ① 公開授業を実施し、意見交換を行う<br>年に1回以上実施できれば 3   | 3  | 3   | B  | 研究授業ウィークスでは小値賀小学校で研究授業・協議を行い、発達段階に応じた説明(評論)文読解の指導について意見交換を行った。児童・生徒の目標進路実現に向けてそれぞれの校種が高い学力目標を掲げ、協力しながら指導を行っていかねばならないと考える。 |
|  |                                 |  | ② 各校種の現状について、情報を交換する<br>年に1回以上実施できれば 3   | 3  | 4   |    |   |
|  |                                 |  | ③ 「まつかぜ」の制作を通して、作品を創造する喜びを体験させる。<br>一人二首ずつ提出できれば 3                                       |    | 3   |    |   |

| 評価項目        | 具体項目  | 目標  | 具体的方策   | 評価 |     |  | 成果と課題  |  |
|-------------|---|---|---|----|-----|--|--|--|
|             |   |   |   | 中間 | 年度末 | 総合   |  |  |
| 学力の充実と向上を図る | ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。<br>② 毎日の家庭学習 2 時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。                                     | 地理歴史<br><b>基礎学力の充実</b><br>授業方法の研究、教材研究の充実により、わかりやすい授業を行う。<br>小テストの実施により生徒の知識の定着を確認し、授業に生かす。 | ① 小テストの実施<br>4回以上・・・4、3回・・・3、2回・・・2、1回・・・1                                      | 3  | 3   | B  | 全体的に、小テストよりも対外模試利用の方が比率が高かったので、次年度からは双方のバランスをとって、知識の定着を図りたい。   |  |
|             |   |   | ② 対外試験対策を利用した基礎知識の定着<br>(問題を解くこと によって知識の定着を図る)<br>3回以上・・・4、2回・・・3、1回・・・2、0回・・・1 | 4  | 4   |  |  |  |
|             |   | 公民<br><b>公民的資質の育成</b><br>時事的問題に興味関心を持たせ、公民的資質を身につけさせる                                       | ① 新聞記事などを随時ピックアップして、生徒に配布する<br>3回以上/月・・・4、2回/月・・・3<br>1回/月・・・2、0回/月・・・1         | 4  | 3   | B  |  | 前期よりは内容を精選して、生徒に配布できた。その記事を利用した調べ学習などを行えたので引き続き実施したい。                                      |
|             |   |   | ② 授業の中で社会に関する時事問題を取り上げ、紹介・解説を行う<br>3回以上/月・・・4、2回/月・・・3<br>1回/月・・・2、0回/月・・・1     | 4  | 3   |  |  |  |
|             | ④ 学習のつまづきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。<br>⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。<br>⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。 | 数学への興味関心を喚起する<br>自主的に家庭学習に取り組ませる  | ① 生徒の実情に合った課題を配布し、家庭学習の習慣をつける。<br>ほとんどの生徒が取り組んだら、3。                             | 3  | 3   | B  | 日々の課題、週末の課題など「問題を解く」ことを中心に行ってきた。課題の提出は良好であったが、提出のための学習という生徒も見られた。課題の意義を考えさせ、学習意識を高める指導が必要である。また、課題+αの自己学習を身につけさせていきたい。 |  |
|             |   |   | ② 定期考査前にしっかりと勉強させ、それぞれの目標以上の点数を取らせる。<br>ほとんどの生徒が目標以上の点数を取れたら、3。                 | 3  | 3   |  |  |  |
|             |   | 数学<br><b>基本的な計算技術の習得と習熟</b><br>四則演算、整式計算ができるようになる。様々な方程式を解けるようになる。                          | ① 生徒の実情に合った問題をそれぞれ用意し、授業や課題、帯タイム等を利用して解かせる。<br>ほとんどの生徒が正解できたら、3。                | 3  | 3   | B  |  | 学び直しという観点から授業や日々の課題で計算力向上を行った。問題への取り組みは良好で、同じ内容でも反復することで徐々に向上が見られた。今後も、継続して計算能力の向上をしていきたい。 |
|             |   |   | ② 就職試験や入試問題を家庭学習課題にして、学習の動機付けにする。<br>ほとんどの生徒が取り組んだら、3。                          | 3  | 3   |  |  |  |
|             | 図形の基本的な性質の理解<br>角度や立体の体積・表面積を求めることができる、円の性質を理解する  | ① 生徒の実情に合った問題をそれぞれ用意し、授業や課題、帯タイム等を利用して解かせる<br>ほとんどの生徒が正解できたら 3                              | 3   | 3  | B   | 基本的な性質については理解できているが、使用方法やなぜそうなるのかの説明がうまくできない生徒が多くなる。文章から図を書く作業はできるようになってきている。今後は根拠を踏まえた論証力・表現力の向上に力を入れていきたい。 |  |  |
|             |   | ② 就職試験や入試問題を家庭学習課題にして、学習の動機付けにする<br>ほとんどの生徒が取り組んだら 3  | 3   | 3  |     |  |  |  |

| 評価項目        | 具体項目  | 目標  | 具体的方策   | 評価   |     |    | 成果と課題   |   |  |
|-------------|---|---|---|--|-----|----|---|---|--|
|             |   |   |   | 中間   | 年度末 | 総合 |   |   |  |
| 学力の充実と向上を図る | ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。<br><br>② 毎日の家庭学習 2 時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。<br><br>③ ことばに対する意識を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。 | 理科<br>毎時間の授業の充実・徹底を図り、年間指導計画の完全実施に努める<br><br>3年間を見通した教育課程を考え、それぞれの学習計画を各単元ごとに十分な授業計画を練り授業に臨み、少人数の利点を発揮しながら個々の生徒の反応や理解度に対応した授業を展開する。 | ① 生徒の実態に合わせ各授業での学習内容の精選を図る<br>単元ごとの学習内容を明確にし、受講生徒全員が授業内に内容を理解できたことを確認しながら授業を進めることができたか。   | 3  | 3   | B  | αについては進度よりも授業の内容理解に重点を置いたため少し遅くなっているが、βについては進路を意識した内容を取り入れて実施するため早めに進めた。進路目標に合わせた指導ができていると思う。 |   |  |
|             |   |   | ② 実験観察を積極的に行い興味・関心および理解を高める<br>半期に 3回以上・・・4、2回・・・3<br>1回・・・2、0回・・・1   | 3  | 3   |    |   |   |  |
|             |   |   | ③ 定期的に学習内容の検討会を実施する<br>各学期毎に生徒の進路や理解度、指導計画の見直しなどについて検討会を実施し共通理解を図っているか。   | 3  | 3   |    |   |   |  |
|             |   | ④ 学習のつまずきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。<br><br>⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。                                      | 理科<br>学習のつまずきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める<br><br>生徒の学力を正確に認識し、それぞれの弱点の克服をできるような学習指導計画を立てる。<br>また、進路決定時期に照準を合わせ必要な学力を身につけさせるための個別指導などを実施する。 | ① 週末課題を実施する<br>半期に10回以上・・・4、7～9回・・・3<br>3～6回・・・2、3回未満・・・1                              | 2   | 3  |   | B   | センター試験では、それぞれの生徒が目標とする結果を出してくれた。βでの授業も最後まで粘り強くできたと思う。定期的に復習する機会を設け、模試等でも良い結果を出させていきたい。             |
|             |   |   |   | ② 小テストを実施する<br>1単元 3回以上・・・4、2回・・・3<br>1回・・・2、0回・・・1                                    | 3   | 4  |   |   |  |
|             |   |   |   | ③ つまずきのある生徒の習熟度と進路目標に合わせた指導をする<br>個別の指導を充実させ、定期試験や校外模試などでそれぞれの生徒の目標とする結果を達成させることができたか。 | 2   | 3  |   |   |  |
|             | ⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。   | 保健<br>基礎体力の向上を目指す<br>基礎体力を向上させ、学校生活の充実を図る。  | ① 授業に8分間走を取り入れる。<br>実施率が、65%以上であれば 3  | 4  | 4   | B  | 8分間走においても積極的に参加してくれている。校内マラソン大会前の長距離走の授業でも各個人の能力に合わせて一生懸命取り組んでおり、大会では素晴らしい走りを見せられた。           |   |  |
|             |   |   | ② 8分間走記録シートの作成・活用<br>記録シートを使い自己記録や、通算走行距離を知ることにより、自己の体力を把握し、生涯にわたり健康な生活を営む基礎体力の向上を図らせる。   | 4  | 3   |    |   |   |  |
|             |   | 保健<br>健全な健康の価値観を形成させる<br>保健的な知識を身につけ、健全な健康の価値観を身につける  | ① 正しい知識に基づいた性の在り方について理解させる<br>性についてのアンケートを実施し、3学年に性教育を行う。   |  | 4   | B  |   | 生涯に通じた授業づくりを意識して取り組み、プリント、パソコンなどを利用することによって生徒の知識理解を深めていった。生徒が生活に生かしてくれると良いと考える。 |  |
|             |   |   | ② 視聴覚教材を積極的に活用する<br>生徒に視覚的に情報を伝え、より理解度を高めていく。   | 3  | 3   |    |   |   |  |
|             |   | 保健<br>新体力テストの活用<br>新体力テストを活用し自己の体力を把握する   | ① 新体力テストを実施する<br>新体力テストを5月までに実施し、95%以上の生徒が実施できたら 3  | 4  |     | A  |   |   | 本年度の新体力テストでは、各生徒が昨年度よりも上回ることを目標に体力の向上に努めてきた。校内マラソン大会では、全員が全力を出し切り素晴らしい力走であった。また、大会新記録がでるなど記録も良かった。 |
|             |   |   | ② 新体力テスト結果の活用。<br>テスト結果を得点化し、成績に反映させ、生徒への確に情報提供を行う。   | 4  |     |    |   |   |  |



| 評価項目        | 具体項目   | 目標  | 具体的方策   | 評価  |     |    | 成果と課題  |   |
|-------------|--|---|---|---|-----|----|--|---|
|             |  |   |   | 中間  | 年度末 | 総合 |  |   |
| 学力の充実と向上を図る | ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。<br><br>② 毎日の家庭学習 2 時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。<br><br>③ ことばに対する意識を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。<br><br>④ 学習のつまづきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。<br><br>⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。<br><br>⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。 | 芸術  | 協同的な学びの実現<br>学び合う関係、学びの場としての教室の雰囲気構築する  | ① 小集団での活動の実践<br>3~4名の小グループによる活動を取り入れ、生徒同士の学びあう関わりが築かれた。 | 3   | 3  | B  | どの学年でもグループやパート毎の活動の中で積極的に活動に取り組むことができた。全体的に前期よりも生徒の音楽に対する興味が高まってきたので、この雰囲気を保持していきたい。この雰囲気の中、個人の力を高め合う関係を授業で設定していきたい。<br><br>前期の効果か、生徒たちが興味・関心を持って鑑賞授業に取り組む姿が見られた。生徒相互の演奏も具体的に批評する活動を加えることで、より演奏に対する姿勢が変わってきたと思う。<br><br>各教科、毎学期に実技試験を 2 回以上行うことで、目標を持って授業に取り組ませることができた。2 学年、3 年選択授業では視唱、聴音などを実施することができ、ソルフェージュ力向上につながれたと思う。1 学年では毎時ではないが、教材に合わせた取り組み方で力をつけられたと思う。 |
|             |  |   | ② 「聴きあう」場の創出<br>互いに聴きあう発表などを通じて、相互に聴きあう関係が築かれた。   | 3   | 3   |    |  |   |
|             |  | 生徒の主体的音楽鑑賞能力向上<br>生徒に音楽芸術を身近に感じさせ、主体的な鑑賞能力の育成を目指す     | ① 鑑賞と表現領域との関連性を持たせた授業の展開<br>鑑賞、表現の両領域を関連づけ、学習の深化を図ることができた。                                  | 3   | 3   | B  |  |   |
|             |  | ② 相互の演奏鑑賞や作品発表の場を設ける<br>生徒相互の演奏鑑賞、作品の鑑賞の機会を設けることができた。 | 3   | 3   |     |    |  |   |
|             |  | 生徒の主体的音楽表現能力の育成<br>生徒に音楽芸術を身近に感じさせ、主体的な表現能力の育成を目指す    | ① 個別または小集団での実技試験の実施<br>個別または小集団での実技試験を実施することができた。   | 3   | 3   | B  |  |   |
|             |  | ② ソルフェージュ力向上のための取組<br>視唱、聴音、歌唱や器楽曲の階名唱指導を実施することができた。  | 3   | 4   |     |    |  |   |
|             | 英語   | 授業内容と教科指導の充実<br>生徒の英語に対する関心が高まるようにわかりやすい授業を行う         | ① 綿密な指導計画と十分な教材研究によって生徒が学習意欲を高め、理解を深められる授業を行う。<br>効果的な指導ができ、8 割の生徒が予習をして授業を受け、英語の理解が深まれば 4  | 3   | 3   | B  | 3 学期は特に ALT と発音指導に力を入れ、正しい発音ができるように TT を 3 人立ちにした。丁寧に発音を指導することで、リスニング力が短期間にやや向上したように感じている。来年度は年度初めに発音指導を行い、語→フレーズ→文を正しく読めるように指導していく。今後も英語への関心が深まるように工夫を凝らしていきたい。 |   |
|             |  |   | ② ALT と協力し合い、生徒が英語学習を通して文化に興味を持ち、理解を深める事ができる授業を展開する。<br>効果的な授業が展開でき、8 割の生徒が積極的に授業に参加していれば 4 | 4   | 3   |    |  |   |
|             |  | 英語に関する基本的な知識の習得<br>基礎学力の定着に努める                        | ① 予習の徹底<br>授業開始前に予習の確認を行う。<br>(9 割以上の生徒が行っていれば 3)   | 3   | 4   | B  |  |   |
|             |  |   | ② 各種テストのやり直しノートの提出<br>各種テストのやり直しを確実に提出させる。<br>(7 割以上の生徒が毎回確実に提出したら 3)                       | 2   | 3   |    |  |   |

| 評価項目        | 具体項目  | 目標  | 具体的方策   | 評価 |     |   | 成果と課題   |   |   |
|-------------|---|---|---|----|-----|---|---|---|---|
|             |   |   |   | 中間 | 年度末 | 総合  |   |   |   |
| 学力の充実と向上を図る | ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。<br><br>② 毎日の家庭学習 2 時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。<br><br>③ ことばに対する意識を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。 | 英語学力と英語運用能力の向上<br>生徒一人ひとりの英語学力の向上に努める                 | ① 進路目標に応じた英語指導の充実を図る。<br>考査や模擬試験の結果を分析して指導に反映させる。<br>(効果的な指導ができれば4)                                       | 3  | 3   | B   | 英検に関しては今年度は1月に実施したが、対外模試と重なってしまい、模試と同時並行での指導が難しく十分な対策ができなかった。来年度は冬季課題や3学期実力考査に英検を反映させ、3級受験者に標準を合わせ、授業で対策も行っていく。2級・準2級の受験者に関しては対外模試の対策を英検と絡めながら行うことで対応したい。 |   |   |
|             |   |   | ② 検定などを有効に利用し生徒の意欲を高める。<br>英検などの検定の告知を十分に行い、受験人数を増やす。<br>(受験者が5割を超えれば3)                                   | 1  | 3   |   |   |   |   |
|             |   |   | ③ あらゆるレベル・ニーズに合わせた指導を行い、生徒の意欲を高めるとともに目標達成を助ける。<br>各生徒のレベルに対応できる授業や教材の工夫をした指導がなされている。(効果的な指導、継続的な指導ができれば4) | 3  | 4   |   |   |   |   |
|             | ④ 学習のつまずきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。<br><br>⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。<br><br>⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。   | 家庭生活を営むために必要な能力を身につける<br>家庭生活について、自立して主体的に営む視点を身につける。 | ① 保育実習の実践<br>乳幼児ふれあい体感を通して、乳幼児とのふれあいに興味を持ち、積極的に行動することができたら3   | 3  | B   | 被服製作実習では、1年生は西高祭で作品を展示することができ、3年生では全員が2学期中に作品を完成させることができた。調理実習では、栄養のバランスを考えた献立作りやお弁当作りの実習を行うことができた。 |   |   |   |
|             |   |   | ② 被服製作の実践<br>基礎的な技術を使って作品を完成させることができたなら3  |    |     |   |   | 2 | 4 |
|             |   |   | ③ 調理の工夫と実践<br>安全に配慮し、栄養的に満たされた調理実習を行うことができたなら3  |    |     |   |   | 3 | 4 |

| 評価項目                            | 具体項目   | 目標  | 具体的方策  | 評価 |     |    | 成果と課題  |
|---------------------------------|--|---|--|----|-----|----|--|
|                                 |  |   |  | 中間 | 年度末 | 総合 |  |
| 基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識の高揚に努める      | 基本的な生活習慣を身に付けさせる   | 生徒指導部<br>集団の秩序を守り、高校生として責任と規律ある生活態度の確立を目指す。   | ① 端正な服装・頭髪を心がけさせ、清潔な容姿を身に付けさせる。<br>毎月1回、服装頭髪検査を実施し、各自が日頃から容姿を正すことができるように指導していく。                          | 4  | 3   | B  | 毎月1回の服装頭髪検査は実施できている。1、2年男子は良好であるが、3年男子が進路が決定したあたりから基準に達する割合が減ってきた。女子は前髪で指導を受けることが多かった。基準達成率も極端に下がっている現状である。検査がなくても自分自身で守れるように指導していきたい。 |
|                                 |  |   | ② 挨拶の励行、時間の厳守の態度を養う。<br>講演や、集会等において、挨拶の徹底、集合時間の5分前行動を心がけるよう指導していく。                                       | 3  | 4   |    |  |
| 交通マナーの遵守を徹底させる                  | 生徒指導部<br>自転車乗車マナーの向上   | ① 自転車整備を心がけ、事故防止に努める。<br>年3回の自転車点検で合格が80%以上で3。1年生に於いては、新入生オリエンテーションで入学時まで整備しておくように指導する。 | ② 自転車乗車マナーの向上により、交通ルールの遵守を目指す。<br>全校集会などで自転車乗車マナーについて指導し向上を目指し、情報提供等により、交通ルールを遵守する態度を育てる。                | 2  | 3   | B  | 自転車点検は1、2学期は80%を下回っていたが、3学期は80%を上回ることができた。交通ルール等の情報提供はできたが、徹底させることはできなかった。(無灯火、並走を指導することがあった。) 今後も、整備不良や違反乗車については根気強く指導していきたい。         |
|                                 |  |   | ③ 駐輪場の整理整頓<br>駐輪場において各生徒の駐輪スペースを明確にし、並べて置くように指導する。   | 2  | 3   |    |  |
|                                 |  |   | ③ 駐輪場の整理整頓<br>駐輪場において各生徒の駐輪スペースを明確にし、並べて置くように指導する。   | 3  | 3   |    |  |
| 学校、保護者、地域社会との連携                 | 生徒指導部<br>保護者、地域社会との連携により、学校と一体になって生徒の健全な育成を目指す。                        | ① 問題行動を未然に防ぐために、地域と情報交換を行う。<br>各種学校・警察・健全育成会等と情報交換し、地域社会と協力して生徒の健全育成に取り組む。              | ② 職員間の情報交換<br>気になる生徒がいたら、常日頃から情報交換を行う。また、問題が生じたら直ぐに、関係職員と情報を共有し、迅速な対応で解決にあたる。                            | 3  | 4   | B  | 問題行動はないが、不登校や、保健室登校の生徒がいた。しかし、(気になる生徒も含め) 関係職員と情報交換を行い、共通理解を図り生徒理解に努めた。今後も不登校等の生徒が出てくる可能もあるので、常に生徒観察に努めていきたい。                          |
|                                 |  |   | ③ インターネットや携帯電話に関して保護者・生徒に情報伝達・指導を行う。<br>PTA、保護者会や全校集会などにおいてインターネットや携帯電話に関する情報等を提供し、モラルの向上に努め、問題行動を未然に防ぐ。 | 3  | 3   |    |  |
|                                 |  |   | ③ インターネットや携帯電話に関して保護者・生徒に情報伝達・指導を行う。<br>PTA、保護者会や全校集会などにおいてインターネットや携帯電話に関する情報等を提供し、モラルの向上に努め、問題行動を未然に防ぐ。 | 4  | 4   |    |  |
| 生徒一人ひとりを正しく理解し、心と心が通じ合う教育を推進する。 | 生徒会<br>生徒会執行部・中央委員会・専門委員会および部活動の連携を密にして、生き生きとした生徒会活動を目指し、明るく和やかな校風を築く。 | ① 生徒の自主的活動を支援する。<br>行事や部活動において生徒の健全な活動を促すように適切な支援をしていく。                                 | ② 各組織における適切な努力目標を設定する。<br>生徒会執行部・中央委員会・専門委員会および部活動におけるそれぞれの努力目標を設定し、達成感を体験させることで意欲の増大を図ることができたか。         | 3  | 4   | B  | 生徒一人ひとりが努力を惜しまず諸活動に取り組んでいる。新生徒会役員も各行事を経験していく中で、成長してきていると感じている。<br>今後は、自ら気づいて動ける生徒、順応性を持った生徒を育てていきたい。                                   |
|                                 |  |   | ③ 一人ひとりの役割や自己目標を明確にする。<br>諸活動がより良くなっていくために、それぞれの生徒が仕事に責任を持って取り組み、努力を惜しまない。                               | 3  | 4   |    |  |
|                                 |  |   | ③ 一人ひとりの役割や自己目標を明確にする。<br>諸活動がより良くなっていくために、それぞれの生徒が仕事に責任を持って取り組み、努力を惜しまない。                               | 3  | 3   |    |  |

| 評価項目                        | 具体項目   | 目標  | 具体的方策   | 評価 |     |  | 成果と課題  |
|-----------------------------|--|---|---|----|-----|--|--|
|                             |  |   |   | 中間 | 年度末 | 総合   |  |
| 基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識の高揚に努める  | 人間尊重の精神を養う。  | <b>生徒会</b><br>学校行事や部活動などの自主的活動を通して協調性や連帯感などを深めるとともに、他を思いやる心を養う。           | ① 生徒会執行部を中心にして各行事を立案・実施する。<br>行事終了後、生徒・職員の感想や評価をもとに、生徒会執行部で協議し、次の機会に活かしていく。   | 3  | 3   | B  | クラス、学年を超えて生徒一人ひとりが協力し、各行事を成功させようと積極的に参加している。部活動においても、他の部活動から刺激を受けるなどして切磋琢磨している。今後は生徒数の減少（男子人数が激減）のため競争意識を持たせることが課題である。 |
|                             |  |   | ② 生徒会活動に一般生徒が協力する形で各行事を実施する。<br>各行事を通して、生徒全員が一体感や連帯感を感じることができたか。              | 3  | 4   |  |  |
|                             |  |   | ③ 各部活動の支援・応援に積極的に取り組む。<br>部活動に積極的に取り組み結果を出そうと頑張っている生徒を支援・応援する。                | 4  | 4   |  |  |
| 悩みを抱える生徒の早期発見と対処            | 保健部(教育相談)<br>学年及び分掌との連携を密にし、生徒の持つ問題点や悩みの解消に努める。            | ① 担任との情報交換、諸検査の活用で問題を抱える生徒を早期発見する。<br>担任との情報交換の場を3回以上設定し、生徒の実態を知る手立てをしたら4 | 3   | 3  | B   | ・担任との連携はできているが、場を設定するまでには至っていない。来年度は、気になる生徒については学年会にプラスした形で情報交換の場を設定し、引き続き学年と協力してカウンセリング等を行っていききたい（面談や家庭訪問）。                     |  |
|                             |  |   | ② 学年・保健室と連携し、問題を抱える生徒のカウンセラー活動を行う。<br>学年・保健室と密に連携し、生徒の実態を知る機会を3回以上持つことができたなら4 | 3  |     |  | 4  |
| 生徒の意識と実態の把握                 | 保健部(教育相談)<br>機会をとらえて、生徒の実状をつかみ、効果的な指導を行う                   | ① 諸検査・各種調査を実施し生徒の実態をつかむ<br>計画通りに諸検査・各調査を実施し、その結果の報告を行うと4                  | 4   | 4  | B   | ・生徒の実情把握について、各種調査は機会を増やして積極的に実施したい（特にいじめ調査）。<br>・テストバッテリーの資料の活用方法について、来年度は結果が届き次第、前年度との比較を含め、1年生の集団としての傾向や個人票の見方などの職員研修を実施したい。   |  |
|                             |  | ② 個人面談や問題を抱える生徒との面談を行う<br>個人面談やカウンセリング活動を実施したら4                           | 4   | 4  |     |  |  |
|                             |  | ③ 諸検査・各種調査の有効的な活用をはかる<br>諸検査の見方・考え方や各調査の分析結果を全職員で研修できたら4                  | 3   | 3  |     |  |  |
| 特別支援教育に関する研究および実態把握         | 保健部(特別支援)<br>特別支援教育について教員の研修に努めるとともに、特別支援を必要とする生徒の実態把握に努める | ① 特別支援教育に関する職員研修の実施<br>専門の講師による特別支援教育研修を実施したら4                            | 3   | 4  | C   | ・次年度の新入生について、早期に実態把握調査を実施し、また中学校と十分に連携をとりながら、必要な生徒に対する特別支援活動に取り組むたい。<br>・引き続き、校内での職員研修も実施したい。                                    |  |
|                             |  | ② 特別支援教育を必要とする生徒の実態把握<br>職員会議などで、職員全体に特別支援教育を必要とする生徒の実態把握をうながしたら3         | 2   | 2  |     |  |  |
| 自律の精神をもち、学校生活に積極的に臨む姿勢を確立する | 1 学年<br>自身の生活習慣を自主的に確立する                                   | ① 端正な服装・頭髪への心がけをもたせる<br>服装頭髪検査を定期考査毎に実施する。(90%の生徒が合格すれば 3)                | 3   | 2  | C   | 挨拶や清掃活動は自ら率先して行うことができるようになってきたが、服装頭髪検査において特に女子生徒の前髪で指導を受けることが多かった。度々基準については説明しているが、不十分であった。生徒との対話を多く行い、規範意識を育て、自己管理ができるよう指導していく。 |  |
|                             |  | ② 挨拶の励行<br>積極的に挨拶を行う。(日常的に挨拶を行う姿勢があれば 3)                                  | 3   | 4  |     |  |  |
|                             |  | ③ 清掃活動への積極的な取り組みをうながす<br>清掃活動に対し積極的に取り組む。(80%以上の生徒が取り組めば3)                | 3   | 4  |     |  |  |
| 集団の中の「個」としての積極的な行動          | 1 学年<br>高校生としての自覚を持たせ、状況に応じた判断・行動がとれるようにする                 | ① 学級活動への積極的な参加<br>ホームルーム活動に積極的に参加している。<br>(各係活動が日常的に機能していれば 3)            | 3   | 4  | B   | 体育祭や文化祭を通して、一人ひとりが役割を担い、責任を持って果たすことができ、少しずつではあるが集団の中で、それぞれが個性を発揮できるようになってきた。来年度は上級生になるので、集団の中でさらなるリーダーシップを発揮できるよう指導していく。         |  |
|                             |  | ② 部活動への積極的な参加<br>生徒が積極的に参加している。<br>(日常的に80%の生徒が活動していれば 3)                 | 4   | 4  |     |  |  |
|                             |  | ③ 学校行事への積極的な参加<br>積極的に参加し各学年と協力できた。(協力的な姿勢が見られたら3)                        | 3   | 3  |     |  |  |

| 評価項目                      | 具体項目                   | 目標   | 具体的方策  | 評価 |     |    | 成果と課題   |
|---------------------------|------------------------|--|--|----|-----|----|---|
|                           |                        |  |  | 中間 | 年度末 | 総合 |   |
| 基本的生活習慣の確立を図り、規範意識の高揚に努める | 学校生活でのルールや時間を守る指導を徹底する | <b>2学年</b><br>校則を守り明るく充実した学校生活を送り、社会に通用する人間形成を図る           | ① 端正な服装・整髪を心がけさせる。<br>毎月の頭髪服装検査において80%の生徒が合格するか。                             | 3  | 3   | B  | 頭髪服装検査で指導される生徒は少ない。自転車点検では不備な点が多くみられた。事故予防・防止のためにも継続して指導をしていく。また、今後は生活面や進路面等で保護者との関わりがこれまで以上に密になるので、担任・学年で共通理解を図っていく。                   |
|                           |                        |  | ② 人と接するときのマナーの向上を図る。<br>目上の人と接するときの言葉遣いや態度が身についているか、また決められた時間を見越した行動ができていくか。 | 3  | 3   |    |   |
|                           |                        |  | ③ 自転車通学での安全性とマナーの向上を図る。<br>自転車の安全整備をきちんと行うことができたか。                           | 3  | 3   |    |   |
| 基本的生活習慣および落ち着いた生活態度       |                        | <b>3学年</b><br>基本的生活習慣を身につけさせ、社会に対応できる人物の育成をめざす             | ① 安易な欠席をしないよう指導する<br>月間の遅刻・欠席者数がクラスの10%以下である。<br>10%以下であれば 4                 | 4  | 4   | B  | 基本的生活習慣も定着し、体調管理にも各個人で意識的に努めていた。容儀面に関しては、大きな乱れはないものの、細部において徹底しきれていない面が見られた。卒業式当日までは本校の生徒であるため、これまで以上に容儀面での指導に力を入れたい。                    |
|                           |                        |  | ② 社会生活に対応できる容儀の指導を行う<br>各学期2回服装検査を実施し、90%の生徒が検査項目を守っている。<br>90%以上なら 4        | 4  | 3   |    |   |
|                           |                        |  | ③ 清掃活動を徹底させる<br>毎日の清掃活動に生徒の90%以上が真剣に取り組んでいる。<br>90%以上なら 4                    | 4  | 4   |    |   |
| 進路指導の充実を図る                | 学力の向上                  | <b>進路指導部</b><br>補習や模試などを通して学力の向上をめざす                       | ① 補習に積極的に取り組ませる<br>怠惰による遅刻・欠席者がいなければ 4<br>5%増えるごとに評価を下げる                     | 4  | 4   | A  | 補習は予定通りの実施。学習会・模試は、追加の提案にも生徒が前向きに取り組み予定以上にできた。受講状況も良好であった。しかしながら、学力については思うような結果が出ていない。進路情報や模試結果の提供と大学入試過去問データソフトの導入などを活用しながら成果を上げていきたい。 |
|                           |                        |  | ② 模試を計画的に実施し、活用する<br>部活動の大会や急な諸行事に対応し、受験予定者全員に無理なく受験させることができれば 4             | 4  | 4   |    |   |
|                           |                        |  | ③ 模試情報の提供と利用<br>各教科で模擬試験の事前・事後の指導を徹底してもらう。過去問・本試験の解説がなされていれば 4               | 4  | 4   |    |   |
| 進路意識の向上                   |                        | <b>進路指導部</b><br>情報の収集・提供を通じて生徒の能力・適性に合った進路目標を確立させ、その達成をめざす | ① 進路講演会の実施<br>専門知識に長けた外部講師を招き進路希望に合わせた講演会を実施する。生徒の満足度が高ければ 4                 |    | 3   | B  | 進路指導室の充実や配布物、教室掲示、情報誌など充実したものができていると思う。2月の進路講演会は、進学・就職と分けて行ったが、次年度以降もこの形で実施したい。また、中学生にも投げかけていけるものは今年度以上に積極的に取り組んでいきたい。                  |
|                           |                        |  | ② 進路説明会の実施<br>職員で検討した資料をもとに進路希望別に説明会を実施し、生徒・保護者の満足度が高ければ 4                   | 4  | 4   |    |   |
|                           |                        |  | ③ 進路情報の提供<br>「進路だより」等の配布物・クラスや進路室の掲示物・生徒個別の情報提供など、できるだけ多くの適切な進路情報を紹介できれば 4   | 4  | 4   |    |   |

| 評価項目             | 具体項目                              | 目標   | 具体的方策   | 評価 |     |    | 成果と課題  |
|------------------|-----------------------------------|--|---|----|-----|----|--|
|                  |                                   |  |   | 中間 | 年度末 | 総合 |  |
| 進路指導の充実を図る       | 生徒の希望進路を達成する                      | <b>進路指導部</b><br>各検討会においてより効果的な進路指導・教科指導を計画・実施する  | ① 進路検討会の実施(3年生)<br>進路検討会の結果を基に、それぞれの生徒に適切な進路指導ができれば<br>4                |    | 4   | A  | 3年生は順調に結果を出しており、たいへん好成績であったと言える。1・2年生については、希望進路がまだ固まらない生徒もいるが、ほとんどの生徒はそれぞれの進路実現に向け、学習に取り組ませることができている。  |
|                  |                                   | ② 学力検討会の実施(全学年)<br>学力検討会の結果を基に進路指導・教科指導の見直し等ができれば 4  |   | 4  |     |    |  |
|                  |                                   | ③ 希望進路に合わせた個別の指導<br>全職員が協力し、教科・面接・適性・接遇・作文等の指導を充実させることができれば 4  | 3   | 4  |     |    |  |
|                  | 進路希望の実現                           | <b>3学年</b><br>個々の進路目標を明確にし、進路達成に向けての取り組みを充実させる   | ① 生徒が必要とする情報を適宜提供し、進路意識の向上を図る<br>80%以上の生徒が具体的な進路目標をもつことができた(80%以上であれば3) | 3  | 4   | B  | 多くの生徒が自身の進路を真剣に考え、その実現に向けて努力することができた。面談も複数回にわたり実施し、保護者・生徒・学校間で生徒の将来について話し合う機会を設けた。オープンキャンパス・企業見学については、遠方が多かったものの、目標に掲げた生徒数以上が参加することができた。                         |
|                  |                                   | ② 個人面談・三者面談を実施し、家庭と学校との共通理解のもと進路指導を行う<br>各学期2回以上面談が実施できた(2回以上実施すれば3)   | 3   | 4  |     |    |  |
|                  |                                   | ③ オープンキャンパスや説明会への参加を奨励し、正確な情報をもとに進路決定させる<br>50%以上の生徒が参加した(50%以上なら3)  | 3   | 3  |     |    |  |
| 小中高一貫教育の内容の充実を図る | 小中高一貫教育の推進                        | <b>教務部</b><br>小中高一貫教育の研究・活動の充実を図り、その教育方針の達成を目指す。   | ① 小中高一貫教育に関する会議日を設定する。<br>毎月1度「小中高会議日」を設定できれば「3」                        | 3  | 3   | B  | 2学期には合同行事として、体育祭・人権集会を行った。両行事とも高校生が中学生をうまくリードし、成功を収めることができた。異学年との交流を通して、生徒の中にリーダーシップ力や異なる意見を受け入れ思いやる素地が、徐々にではあるができていくと感じる。来年度も中高教員間の連絡を密にし、さらに充実した合同行事を企画していきたい。 |
|                  |                                   |  | ② 小中高一貫教育に関する行事を設定する。<br>小中高一貫の行事を年間3回以上設定できれば「3」                       | 4  | 3   |    |  |
|                  | 小中高一貫教育の内容の工夫を図り、その成果を検証し、改善に努める。 | <b>生徒会</b><br>少子化が進行する中で、小中高一貫教育の利点を最大限に発揮できるように行事や部活動のあり方を変革していく。   | ① 各校種共同で行う行事を改善する。<br>昨年度実施された行事の反省を元に、小中高で十分に協議を重ね実施計画をたてる。            | 4  | 4   | A  | 中高合同体育祭では、これまでの反省を生かし前回、前々回よりもより良い体育祭になった。生徒にも達成感を持たせることができたと思う。部活動では、これからの生徒減少を見据えて、各種大会参加規定について改善することができた。しかし今後は大会参加も含め、その内容の充実が課題である。                         |
|                  |                                   | ② 事後の反省をまとめ次年度に活かせる資料を作成する。<br>一貫教育として行ったことの効果や反省点をまとめた資料を作成し、それぞれの校種の職員が共通に理解できるように努める。                           | 3   | 4  |     |    |  |
|                  |                                   | ③ 生徒数減の現状に即した部活動のありかたを具現化していく。<br>小中高の職員であらゆる条件を加味しながら協議を重ね、現在および将来の生徒の特性を生かせる部活動を、生徒・保護者・地域の方々に十分な理解を求めながら実現していく。 | 3   | 4  |     |    |  |

| 評価項目                        | 具体項目   | 目標  | 具体的方策  | 評価 |     |  | 成果と課題  |
|-----------------------------|--|---|--|----|-----|--|--|
|                             |  |   |  | 中間 | 年度末 | 総合   |  |
| 小中高一貫教育の内容の充実を図る            | 小中高12年間を見通した系統的・継続的な教育を進める                                 | <b>2学年</b><br>中堅学年としての自覚を持たせ、地域に開かれた明るい校風の樹立を目指すように指導する。  | ① 学級活動への積極的な参加を図る。<br>クラス委員や係・清掃・その他の学級活動に積極的に参加していたか。                           | 3  | 3   | B  | 中高合同体育祭ではリーダーシップをとり、積極的に行動することができていた。また、補習や学習会、インターンシップへ積極的に参加した。次年度は、最上級生としての自覚および行動力をつけさせていきたい。    |
|                             |  |   | ② 部活動への積極的な参加を図る。<br>日常的に90%の生徒が積極的な活動ができていたか。                                   | 4  | 4   |  |  |
|                             |  |   | ③ 学校行事への積極的な参加を図る。<br>積極的に参加し各学年や小中学生と協力できたか。                                    | 3  | 3   |  |  |
| 学校行事におけるリーダーシップの発揮          |  | <b>3学年</b><br>最高学年としての自覚を促し、学校行事においてリーダーシップを発揮させる   | ① 学校行事や部活動を通して、リーダーシップの発揮を促す<br>行事に積極的に参加し、下級生に対してリーダーシップを発揮できたと教員の70%以上が判断すれば 3 | 3  | 4   | A  | 文化祭・体育祭共に最高学年として、意欲的な態度を後輩に見せることができた。球技大会においても、学級・学年で協力して全力を尽くすことによって大きな喜びを得ることができていることを行動で示すことができた。 |
| 小中高12年間を見通した系統的・継続的な教育を進める。 | 理科<br>小中高の職員で学習内容や行事・地域での活動などを精選する、また教育課程の見直しも含めて十分な検討をする。 | ① 小中高の職員が協議し系統的な理科教育の流れを確立する。<br>小中高12年間を見通した系統的・継続的な理科教育を進めるための情報交換と学習内容検討の場を各学期に1回はもつ。<br>② シラバスを作成し、計画に基づいて実施する。<br>シラバスを作成し、ほぼ計画通り実施・・・4<br>シラバスを作成し、7割程度実施・・・3<br>シラバスを作成したが実施できなかった・・・2<br>シラバスを作成しなかった・・・1<br>③ 公開授業の実施<br>小中学校理科担当も参加し、2人とも年1回以上・・・4<br>2人とも年1回以上・・・3<br>1人のみ年1回以上・・・2<br>全く実施されず・・・1 | 4  | 4  | B   | 研究協議などで教科の指導についてより深く話し合うことができた。公開授業と切り離し、今後も各分野での授業研究を重ねていくつもりである。   |  |
|                             |  |   | 3  | 3  |     |  |  |
|                             |  |   | 3  | 4  |     |  |  |
| 郷土学習を進め、郷土を愛する心を育てる         | 家庭科<br>郷土学習を行い、郷土に感謝し、郷土を愛し、郷土に貢献する心を育てる。                  | ① 地場産物を使った調理実習を行う<br>1回の調理実習で、小値賀産の食材を2種類以上使用できたら3<br>② 小値賀の特産品や農作物を知る<br>調べ学習を行い、小値賀の特産品や農作物についてまとめることができたなら3<br>③ 郷土料理教室の実施<br>地場産物を用いて、郷土料理を完成させることができたなら3   | 3  | 4  | C   | 地元産の食材を有効に活用することができた。郷土料理教室では、すべての材料が地元で採れた新鮮な野菜や魚であった。ただし、地元の農作物や水産物について調べ学習を行うことができなかったため、今後の課題とする。              |  |
|                             |  |   |  | 2  |     |  |  |
|                             |  |   |  | 4  |     |  |  |
| 小中高間での連携の活発化                | 家庭科<br>共同しての教材研究を行う  | ① 共同の授業研究<br>1時間以上の授業研究会を3回開催することができたら3<br>② 教材・授業案の蓄積、共有化<br>年間を通して、新たに試みられた授業内容の授業案化、データ化、教材の蓄積ができたら3   |  | 4  | C   | 11月の研究授業ウィークスを機に、小学校と中学・高校の家庭科での取り組みについて相互に意見交換することができた。また、中学校へ乗り入れ授業を行うことにより、中学校と高校の授業内容のレベルアップがよりスムーズにできるようになった。 |  |
|                             |  |   |  | 2  |     |  |  |